

# 食と命を学ぶ「酪農教育ファーム」



おきのつ  
置賜の美牛が東日本一に！

山形県南部、自然豊かな置賜盆地のほぼ中央に位置する山形県立置賜農業高等学校（通称：置農）。明治28年に創立され、今年で124周年となる歴史ある農業高校。これまでに1万9千名を超える卒業生を輩出。現在3つの学科を設置し、農業に関する専門的な学習により、知識と経験を取得している。

○生物生産科 農作物の生産・加工・流通を学ぶ

○園芸福祉科 園芸の活用とそれをベースにした福祉・介護を学ぶ

○食料環境科 環境保全や景観創造、食品の製造や分析を学ぶ

このうち、「生物生産科」の畜産専攻の生徒は、乳牛、和牛、採卵鶏、地鶏、うさぎ、ポニーを飼育。校舎の裏山に広がる置農付属の畜舎「蓬田牧場」で実習している。畜舎の管理や動物の世話等は生徒が行い、当番制で動物達の命を守っている。

令和元年10月、岩手県栗石町（せつくいしちやう）で

開催された「※1 2019 東日本デリーショー」では、置賜農業高校が出品した『TLM カリスマ ブラックレキシコン』が※2 グランドチャンピオン（最高位）を受賞。

※1 牛の容姿や骨格、乳房のバランスを競う、いわば牛のミスコン

※2 当賞は各部門（年齢や経産）の王者の中で最も優れた牛（統一王者）に与えられる賞。



最高位を受賞した牛

## 「酪農教育ファーム」

「酪農を通して食や命の尊さを伝えたい」

置農蓬田牧場は平成24年より「酪農教育ファーム認証牧場」として活動しており、年間約100名の体験者を受け入れている牧場。

「子どもたちの生きる力を育むために、命や食の生産現場や、そこで働く人々とふれ合う機会を持ちたい」という教育現場の想いと、「酪農の生産現場を見て、たくさんの方々に日本の酪農を応援してほしい」という酪農生産現場の想いがひとつになり、「酪農教育ファーム」の活動がスタートした。

体験内容は色々な動物とのふれ合いやバター作りなど。置賜管内の小中学生を中心として、幅広く一般の方々を受け入れている。

案内や説明は、畜産を専攻する3年生が担当しており、日々の実習成果発表やコミュニケーション能力向上の場になっている。

実習教諭の鈴木隆英<sup>たかひで</sup>先生は、「酪農教育ファームファシリテーター」の資格を有している酪農教育の第一人者。

「酪農体験を通して、子どもたちに食や命の尊さを伝えたい。たくさんの方に酪農に興味を持ってほしい」と語った。



## 酪農体験レポート

日時	令和元年11月9日(土) 9:00~11:30
場所	置賜農業高校 蓬田牧場
参加者	小人10名(3歳~15歳) 大人4名
内容	班分けを行った後、1時間の動物ふれ合い活動。 その後、1時間バター作り・試食を行った。
感想	子ども達は、普段ふれ合うことの出来ない動物を、 間近で見たり直接触ったりすることができて喜んでいました。

## 置農生ヘインタビュー

- Q.講師を務めて勉強になったことは？  
A.一般の方に説明するために、事前に調べたり、考えたりすることで、自身の勉強にもなった。
- Q.参加者に知ってほしいことは？  
A.普段口にしていない動物とふれ合うことで、命の大切さを知ってほしい。



◇ご連絡いただければ、一般の方でも参加できます！  
皆様も参加されてみてはいかがでしょうか。  
詳細は右記にお問い合わせください。

◇お問い合わせ  
山形県立置賜農業高等学校  
〒999-0121 山形県東置賜郡川西町上小松3723  
TEL 0238-42-2101(代表)